



着実に前進を実感

2013年度年間総括

大西 弘

2013年度の活動を振り返ってみると、1月の総会・新年会に始まり、3月には恒例の World Friendship Day、4月にはFFセミナーを開催、5月にはドイツ渡航、6月には中部ブロック会議、9月末から10月初旬にかけて南フロリダクラブの受入れ、10月には鳥取での日本大会に参加、11月にルーマニア Brasov Club 受入れ、等々主要な行事だけでも相当多忙な一年であったと思います。

これらの行事に加えて、クラブ内活動もますます活発に行われるようになり、会員相互の交流も一層深まって来たのは大変喜ばしい事だと思っています。

特筆すべき事としては、FFセミナーで提案された会員の自主運営による English Chat Salon が予想を超える反響を呼び、定着化してきた事、例会に講師を招き色々な話題について講話を聴く機会が増えた事などがあげられます。

会報の定期的発行を取りやめ、ホームページ上のブログに切り替えた結果、多くの会員がブログによる情報伝達に馴染み始めた事も大きな成果の一つです。

まだまだ多くの課題を抱えながらも、総じて着実に前進しつつある事を実感出来た年であったと思います。



ケルン大聖堂



ゴスラー 皇帝居城



Annual event

- 1月 総会・新年会
- 3月 第7回 World Friendship Day
- 4月 第3回 FFセミナー
- 6月 中部ブロック会議 (奈良クラブ主催)
デラウェア大学学生受入れ
- 7月 奈良産業大学留学生受入れ
- 10月 第25回 FF日本大会 (鳥取クラブ主催)
- 12月 クリスマス会 (定例会後)

渡航と受入れ

- 5月 ドイツ渡航 Gelsenkirchen Club
Braunschweig/Peine Club
- 9月 南フロリダ受入れ
South Florida Club and mixed G
- 11月 ルーマニア受入れ
Brasov Club (4泊5日)

1/20 総会 & 新年会



2013年度新役員

総会

会長	大西弘
副会長	内田堯子
事務局	佐々木啓子、樋室富佐子
会計	仮家正剛
イベント	河村ひとみ、中森恭子、内田堯子(兼)
手作り	高尾ハツ子、畑廣子
広報	小泉くに子(新)、道上恵子(新)
交流	藤井英雄、合田サワ子(新)
英会話	木村洋子
監査	山足和生

2013年1月20日(日)、西奈良県民センターで新年度の総会と新年会を開催しました。総会出席者68名、委任状12名で開会。阪井さんの司会で、大西会長の挨拶、前年度の活動報告、会計報告に続いて、本年度の活動基本方針、行事予定、予算案などが報告され、新年度の役員が紹介されました。任期満了で退任される青木理事、浅田理事、西野理事、阪井理事、10年以上会計を担当し、後監査へ移動された山足理事達に感謝の拍手を贈り、総会は無事終了しました。

新年会

恒例のポットラックでスタート

総会の後はお待ちかねの新年会。今年は奈良産業大学の学生14名とALTのマリアも加わって賑やかにスタート。いつものながらの会員手作りの料理、デザートでお腹を満たし、その後体操で体をほぐし、ゲームで頭を使い、楽しくダンス、最後にゲーム感覚でプレゼント交換。

今年もイベントグループの皆さんの計画とリードで楽しいパーティを持つことが出来ました。



パーティに奈良産業大学の留学生14名とマリアさんが参加



3/3

The 7th World Friendship Day

「世界の粉もん料理」で広げようフレンドシップの輪

☆ 7カ国の粉料理を作りました チヂミ (韓国)
 クレープ (フランス)・ピザ (イタリア)・水餃子 (中国)・
 ピロシキ (ロシア)・タコス (メキシコ)・たこ焼き (日本)



10時30分、「リーベル王寺」5Fの調理室に集まったのは、FF会員46名、ゲスト26名の72名。ゲストは、日本在住のイギリス、アメリカ、カナダ、中国、南アフリカ、ロシアの方たちと「おぶぶ茶苑」の代表者とその研修生。各テーブルごとに違う料理を作って、その間に皆さんあちらこちらに食べ歩き、それぞれ違う味を楽しみました。



食事の後は楽しい交流会



ゲストの外国の方達が素晴らしいパフォーマンスを披露して下さいました。最後に恒例の大和路ラブソティーをみんなで踊って楽しい時を過ごしました。



4/21

第3回FFセミナー

人々を隔てている壁を乗り越えて相互理解を推進する

生駒南コミュニティーセンター「せせらぎ」にて開催。参加者 51 名。

10時から30分間は4月度の例会。その後会長の話、FFIのビデオ上映、11時から仮家さんの司会で第1部自由討論会。45分の昼食をはさんで内田さんの司会で14時45分まで第2部自由討論会。司会者の好リードで全員が発言。多くの意見を聞くことが出来ました。この時に山足さんの提案で、英語のチャットサロンが発足することになりました。美味しいお弁当を食べ、その後の休憩時間に手作りグループの作品の販売があり、あっという間に完売しました。



5/9～23

ドイツ渡航

前半 **ゲルセンキルヘンクラブ** 5/9～16

当初ドイツ渡航の希望者が多かったため、もう1ヶ所増やして、2ヶ所のクラブを訪問しました。豊かなドイツの歴史や文化に触れることが出来ました。

前半グループ 18名

- (ED)①合田さわ子 ②大西 弘/博美 ③藤井英雄・辻井良行
 ④滋井寛子・吹田栄子 ⑤上山よしこ・湯浅順子
 ⑥中森恭子 ⑦濱田延子・阪井敏江 ⑧道上恵子・三木貞子
 ⑨今井寿正/寿子 ⑩木村久志/洋子

後半グループ 20名

- (ED)①山口隆子・松本朱美 ②内田勝治/堯子
 ③吉川利文/公子④西村檜美・河井文子 ⑤河村秋男/ひとみ
 ⑥前野美佐子・⑦中森恭子 ⑧濱田延子・阪井敏江
 ⑨道上恵子・三木貞子 ⑩今井寿正/寿子 ⑪木村久志/洋子

*緑の名前の方は両方に参加した人たちです

★スケジュール★

- 5/9(木) 関空発 (アムステルダム経由でデュセルドルフへその後 鉄道でゲルセンキルヘンへ)
 5/10(金) ボックム炭鉱博物館見学
 5/11(土) 自由行動
 5/12(日) 自由行動
 5/13(月) ゲルセンキルヘン市長訪問、市内観光、ラジオ局
 5/14(火) ケルン大聖堂、ライン川クルーズ (バスツアー)
 5/15(水) オーベルハウゼン市内観光、ショッピング
 フェアウエルパーティ (ポットラック形式)
 5/16(木) ホームステイ終了して、鉄道でハノーバーへここで次のホームステイ先に行くメンバーとメルヘン街道へ行くメンバーとはお別れ



ED Anke

副市長

驚きの Welcome ! →
到着した駅の構内でのウエルカムレセプションにびっくり!



かつてのルール工業地帯

ゲルセンキルヘンは産業革命の進展と共に発展し、20世紀に石炭の採掘、石油精錬の中心都市として栄え、その名残りの炭鉱跡や巨大なガスタンクがミュージアムに変身。特にガスタンクの中に巨大なバルーンがあり、中に入るとまるで銀世界の中にいるような不思議な感覚になりました。



ガスタンク



バルーンの中

右の夫婦は FF 会員ではなく、娘さんが日本で世話になったからと、ラジオでの募集を聞いてホストを申し出られた。



フェアウエルパーティ (ポットラック)

2013.05.15



菜の花畑

2013/05/25

今年のドイツは異常気象

例年ドイツの5月は雨が少なく、さわやかな気候だそうですが、今年は雨が多く寒かったので、ダウンコートを手離せませんでした。いつもならこの時期には見られない美しい菜の花畑をあちらこちらで見ることが出来、感激!

後半 **フランシュバイク/パイネクラブ** 5/16~23



きめ細やかなホスピタリティーに Danke !

このクラブでは「アンバサダーは大事なお客様」といわれ、心のこもったおもてなしに感動！500人のドイツ人に囲まれた地元の祭り、射撃祭に名誉ゲストで参加、ブラスバンドの音楽と歌の輪に加わるといふ感動的な体験も！フェアウェルパーティでは民族舞踊団の踊りを楽しみ、ホワイトアスパラガスやドイツ料理を堪能。感動につぐ感動のホームステイ体験でした。

★スケジュール★

- 5/16(木) 関空発 アムステルダム経由ハノーバーへ (11名)
ゲルセンキルヘンから鉄道で (9名)
- 5/17(金) ブランシュバイク市内観光、
ウエルカムランチ (レストラン)
オーカー川下り
- 5/18(土) ハノーバーのヘレンハウゼン王宮庭園 (左写真)
オールドタウン街歩き、ニュータウンホール
- 5/19(日) 自由行動
- 5/20(月) 精霊降臨祭で祝日/会長宅に集合、シャンペンで乾杯
射撃祭 (ブラスバンドを聞きながらランチ)
風車祭り (ケーキとお茶)、サルダー城見学
- 5/21(火) ゴスラーとヴェルティンガーオーデ (バス旅行)
- 5/22(水) フェアウェルパーティ (パイネのレストラン)
- 5/23(木) ホームステイ終了して、鉄道でハノーバーへ
メルヘン街道オプショナルツアー



射撃祭



ED
Heinz
山口隆子

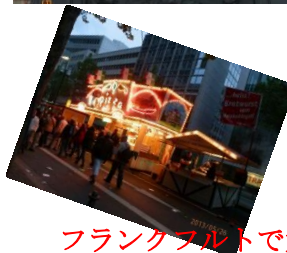


この写真と記事が地元紙に大きく掲載
(会長宅の庭にて)

メルヘン街道3泊4日ツアー 前半グループ 5/16~19日 後半グループ 5/23~26日

グリム兄弟の足跡をたどって

- 1日目 ◎Hameln(ハーメルン)市内観光 →◎ゲッティンゲン (大学の街) 旧市街散策~ (カッセル泊)
- 2日目 ◎Kassel(カッセル)市内観光・グリム博物館→ヴィルヘルムスヘーエ公園、宮殿 (マールブルグ泊)
- 3日目 ◎Marburg(マールブルグ) 市内観光 (フランクフルト泊)



フランクフルトで大きなお祭りに遭遇!



今回、奈良クラブが主催となった中部ブロック会議は、6月8日(土)、奈良公園内の国際奈良学セミナーハウスで、52名が参加して開催され、会議後は食事会や奈良公園の散策などで親睦を深めました。



中部ブロック7クラブから50名(うち奈良クラブから15名)、FFJから事務局代表・石井嗣代さん、またFFIプログラムコーディネーターとして新しく着任された金元勅子さんも参加され、和やかな雰囲気の中で充実した情報交換、意見交換がなされました。

近隣諸国との交換に関しては、第1希望として申請するクラブがほとんどないため、中部ブロックで合同渡航の申し入れをしてはどうか、との提案があり、前向きに検討されることになりました。

会議の後は「子規の庭」などを散策し、正岡子規が愛でたといわれる柿の古木など奈良の風情を楽しみました。天平倶楽部での親睦パーティでは、各クラブ会員が入り混じって席に着き、互いに友好を温めました。

なお、手づくりグループの作品がその場で展示販売され喜んで頂きました。



6/28~30

デラウェア大学生 受入れ

ホスト	佐々木啓子	藤田欣吾	端崎市郎
	合田サワ子	滋井寛子	濱田延子
	小泉くに子	中森恭子	吉岡三枝
	岡本美保子		

今年も神戸松蔭女子大学に滞在中の米・デラウェア大学の学生が、6月末の週末に2泊3日のホームステイにやってきました。男子4名、女子8名の計12名。そのうち5名が中国の留学生。日本語のレベルはまちまちですが、みんな日本文化に強い関心を持っていました。



奈良周辺の観光だけでなく、七夕飾りの準備、季節行事「虫送り」(7/29)の見学、「藍染め」の体験、物理専攻学生となぜか「空海」の話題に花が咲いた夜、ミュージカルで同世代の娘と盛り上がるなど、珍しい体験に親日感情がより高揚した様子。

7/27~29

奈良産業大 留学生受入れ

ホスト	大西弘	中森恭子	小泉くに子
	仮家正剛	星野智	湯浅順子
	三木貞子		

今年も男子4名、女子9名、計13名の留学生が、7ホストのところへ2泊3日のホームステイをしました。留学生は香港城市大学専上学院からの8名が中心で、ほかに中国、台湾、タイから。

アニメオタクと言えるほど日本のアニメ大好き留学生たちは京都の太秦映画村やマンガミュージアムで大いに興奮。女子学生の多くは、浴衣を着て花火大会、西瓜割り大会、地域の盆踊り、商店街の夏祭り等々に出かけ、日本の夏の風物詩を満喫。男子学生の中に驚くほどお習字が上手な生徒がいました。写真はその作品。



9/29～10/8

South Florida & Mixed Group 受入れ

サウスフロリダから11名、アメリカ各地から6名、カナダから1名、オーストラリアから2名、計19名（男性5名・女性14名）は、到着場所も時刻も異なる、まさに混成チーム。ここ奈良・サンマルクでの初顔合わせは、アンバサダー同士の初顔合わせでもありました。しかも、それを統率するEDのDennisさんは、30年の歴史あるFFサウスフロリダ・クラブでまだ1年の新入会員でした。それでもホスト側の手際と連携のよさで不安や戸惑いを払拭し、終わってみればみんなが楽しく、心に残る交流でした。

ED 浅田喜美子

ホスト

大西弘/博美
前野卓司/美佐子
道上一清/恵子
仮家正剛/倫子
岡本拓/美保子
阪井肇/敏江

藤田欣吾/由紀子
畠中虎夫/愛子
中森恭子
合田勝彦/サワ子
濱田良雄/延子



ED
Dennis Yemma
浅田喜美子

日本文化体験
今回、ホストもきものを着て、着付けの過程もお見せしました。



奈良公園散策

奈良公園はまず東大寺大仏殿から。定番コースでも相手変わればいつも新しい感動を分け合うことができます。



古いネクタイがネックレスに甦る日本の手芸にサプライズ。



京都観光 ちょっとお疲れ、二条城で。



日本伝統遊具ケン玉に熱中するNormanさん。

Farewell party

今回の会場はロイヤルホテル。FF奈良メンバーの青木俊一さんの和太鼓演奏で幕が開き、やはりメンバー母娘の小野弘美さん・瑞希さんが演奏する伝統の宮廷音楽に合わせて神楽舞が披露されました。



★スケジュール★

- 9/29(日) 関空とJR京都へ出迎え
- 9/30(月) ウェルカム・レセプション(サンマルク)
- 10/1(火) 日本文化体験 (はばたき)
- 10/2(水) 奈良公園 (大仏殿, 二月堂, 春日大社)
- 10/3(木) 京都 (金閣寺, 竜安寺, クラフトセンター,
- 10/4(土) 京都 (嵐山, 天竜宇, 錦市場)
- 10/5(日) 京都 (清水寺・ショッピング)
- 10/6(月) フェアウェルパーティー (ロイヤルホテル)
- 10/7(火) 自由行動
- 10/8(水) 見送り (JR奈良)



手づくりグループが豪華な帯から制作したお土産を贈呈。



会場ところ狭しと、みんなで踊る大和路ラプソディ。奈良で初対面の挨拶をしていた混成アンバサダーたちも、はや一団となって次の滞在地・広島へ旅立ちました。

10/19

第25回 FF日本大会 鳥取

スサノオノミコトの大蛇退治の神話に因んだ荒神神楽を、地元高校生の迫力あるパフォーマンスで開会。



鳥取県副知事、米子市長等の挨拶の後本会議に入り、東日本大震災被災児たちがオーストラリアを訪問したなども報告された。懇親パーティは山陰の海鮮の美味と美酒で乾杯



FFIの新会長 Joy DiBenedetto 氏及びスタッフの金元勅子さん、FR コーディネーターの石井嗣代さんを囲んでFF 奈良の参加者、大西弘、大西博美、藤井英雄、畑廣子、樋室富佐子、河村ひとみ、中森恭子、畠中愛子の面々。

鳥取クラブ主催の今年のFF日本大会は、10月19日（土）、米子市コンベンションセンターで、全国22クラブから約200名が参加して開催されました。

FFIの新会長 Joy DiBenedetto 氏が初来日、終始なごやかな雰囲気なかで進行しました。

全体会議に先立ち、午前中に代表者会議が開かれ、今後増えるであろう Mixed Group 受入れの問題点などについて討議されました。

FF 奈良クラブからは大西会長はじめ8名が参加。大会後のオプションルツアーにつづき、例年通り FF 奈良親睦旅行で山陰の景観と美味を満喫しました。

10/20~21 オプションルツアー & 奈良クラブ親睦旅行

日本大会オプションルツアーの松江出雲コースに参加した奈良クラブ一行は、足立美術館、出雲大社、松江城などを巡って、美しい夕日の沈む宍道湖畔で宿泊。ここからは FF 奈良の親睦旅行で、夜遅くまで友好と親睦。

翌 21 日は松江をこよなく愛した小泉八雲の記念館、鮮魚が美味しい境港、あの「鬼太郎ロード」などを見学。



▲松江城ではお堀を廻る「堀川めぐり」にも乗船しました。

◀横山大観のコレクションで有名な足立美術館の庭園は借景の美観で有名。一行の後の像は「大国主命」。



NEW ACTIVITY

ECS(English Chat Salon) 開設

“習うより慣れろ” というが、「英会話教室と同時にもっと英語をしゃべることに慣れる機会がほしい」という今春セミナーでの要望と提案を受けて、早速準備にかかり、7月21日に第1回をスタート。名付けて「イングリッシュ・チャット・サロン＝ ECS」。

毎月2回、「とみの里ふれあい会館」で開いています。

10月末で、参加者は平均22名(18~27名)。くじで、2人組、3人組を作って英語で自由なおしゃべり。



会話中には相手の言い方をその場で訂正して、会話を寸断しないことが、このサロンのルール。日本語ばかりでしゃべり出した時だけは注意する。

英語に堪能な「お助けマン」が毎回、数名参加。質問・疑問に答えていただくほか、みんなで聞く「助言タイム」も外国の方との会話に直接役立つと好評。

11/19~23

ルーマニア Brasov Club受け入れ

ルーマニアから10名が来日。今回の受け入れは、ストップオーバーにしては少し長めの4泊5日で、日程上奈良にステイする前に京都のホテルに2泊しました。その結果、京都観光も奈良クラブがフルアテンドしたので、公式の受け入れとほとんど変わらないものになりました。

ウェルカムパーティもアンバサダーが少ないので心配しましたが、52名もの奈良のメンバーが参加して、大変盛り上がりました。

彼らは比較的若くて日本への関心が深く、好奇心の旺盛なグループでした。フェイスブックを使いこなしていたのがとても印象的でした。

ホスト

ED 内田堯子／勝治
吉川利文／公子
木村久志／洋子
吉岡行雄／三枝
河村秋男／ひとみ
乾真理

★スケジュール★

- 11/17 (日) 関空出迎え
- 18 (月) 京都観光 (嵐山・野宮神社・天龍寺
遊覧船・金閣寺・錦市場)
- 19 (火) 京都観光 (清水寺)
- 20 (水) 奈良公園 (大仏殿, 二月堂,)
- 21 (木) ウェルカムパーティ (はばたき)
- 22 (金) 自由行動
- 23 (土) 見送り (JR 奈良) 大分クラブへ



京都観光

2泊3日の紅葉の美しい京都を満喫！
宿泊はゲストハウスを彼らが予約して来ました。繁華街のど真ん中にあり、便利で格安だとか・・・

奈良公園散策

この日はあいにくの雨で、とても寒い日でした。「どうしてこんな日に散策するの？」と不満の声も・・・。休憩室で熱いお茶を飲みホッと一息。



Welcome party

久々にアジアの海賊を踊ると途中で、ルーマニアの人たちも加わって大盛り上がり！又、最近結成したというトリオの歌とトーク、お琴の演奏、ルーマニアの人たちの歌とプロジェクターでのルーマニアの美しい町の紹介など、楽しい時を過ごしました。



民族衣装を着た ED の Elena



豪華なポットラックの料理



12/26

12月定例会&クリスマス会



西部公民館で12月定例会後、3時からクリスマスパーティーを楽しみました。参加人数48名。会場は少し狭かったので大きく動くことは出来ませんでしたが、会員による手作りケーキを頂きながら、クリスマスソングを歌ったりゲームをしたりで、大いに盛り上がりました。最後にそれぞれが500円相当のプレゼントにメッセージを付けて交換しました。

何人かがプレゼントとメッセージを披露しました。



交流

「FF サロン」で例会さらに充実

今年もデラウェア大学生や奈良産業大の留学生を短期間受入れました。若い学生から慕われ、元気をもらった交流がありました。

しかし、今年の活動は、何といても例会で「FF サロン」をスタートさせたことです。会員及び会員と関係のある講師を迎えて、それぞれの専門分野の貴重な講演やら、心に響く演奏やら朗詠やら。感銘あり、ときに爆笑あり。あらためてFF 奈良クラブは多才な人達に取り囲まれていることを実感しました。

第2回 3/24 ドイツってどんな国 内田勝治氏

ドイツ史に詳しい内田副会長のご主人が、5月のドイツ渡航を前に、ドイツとはどんな国か、ローマ時代のゲルマン民族以来の壮大な歴史を親しみやすく語ってくださいました。おかげで渡航しない会員にもドイツが身近な国になりました。

第4回 9/22 Mr. Billy Moskas Let's Enjoy Singing a Song in English

Billyさんは、FF 奈良クラブの英会話講師の一人。その歌声はすでにWorld Friendship Dayにお披露目済み。講演はすべて英語。17世紀初頭の哀愁を帯びた黒人労働歌から、ブルース、ジャズ、カントリーソングなど、社会的背景を映してきたアメリカの歌の歴史を、ギターやハーモニカの演奏を交えながらの熱演。最後はみんな、You Are My Sunshine を斉唱して、すばらしいひとときを共有しました。



第1回 2/24 山田流 絵の見方 山田博司 画伯

FF 奈良クラブの創立会員である山田博司画伯による「絵画の鑑賞の仕方」の講演。奈良を愛して描き続けておられる画伯の、ほのぼのと情緒豊かな作風そのままの語り口は、講演というより「山田流 絵の見方」のお話。ユー



モラスに心温まる絵画へのアプローチでした。

第3回 7/21 犬養万葉の世界と私 水本洋氏

講師の水元洋氏は「犬養万葉記念館協力友の会」代表で藤井英雄さんの友人。万葉関係の多くの会に所属されていて、大学時代の犬養孝氏との出会い以来、万葉集とは深く永く付き合ってきた方。

天皇から庶民まであらゆる階層・地域・立場の人々の歌を通して当時の習慣、世界観、そして何よりも日本人の心を感じ取ってほしいと、軽妙な話術で語られる万葉の世界に、一同引き込まれていきました。同氏は万葉歌碑を訪ねる飛鳥路ハイキングにも参加してくださいました。



第5回 11/10 税を考える—どう変わる？相続税・贈与税 西野 恕氏

税理士・西野恕氏は西野博子会員のご主人。今年の閣議決定での税制改正に伴い、どう変わるようになったのかを解説していただきました。該当者には切実な問題ですが、当面それほど関心のなかった人も、数字は苦手という人も、税のことは門外漢と知っている人も、講演が進むにつれて、難しい話もさりげなく面白く、終わってみれば身近な問題として、よく理解できました。

手づくり

女性陣のパワー結集

今年も1カ月に1度の集まりを基本に、活動してきました。2度の受入れのお土産制作、渡航者が持参するお土産用作品の販売、中部大会での作品の展示販売など、それらを協力し合って、成果をあげることが出来ました。

メンバーそれぞれが得意分野を発揮させ、それを伝授、吸収し合い、発展させる協力関係ができ、充実の年となりました。

昼食時は、お得意の惣菜や漬物、デザートなどを持参し、レシピも教え合います。賑やかさはご想像以上ですが、裁縫にせよ、料理にせよ、創ることへの意欲がみなぎっています。

女性陣の結集されたパワーは和やかさと共に来年へと受け継がれることでしょう。



同じ黒いコットン地から独創性豊かな「マイ・エプロン」が出来ました。皆さんご満悦！



Exchange の度に感動をお届けしてきたお土産品はこの手づくり工房で生まれます。



イベント

桜に見放されたFF観桜ハイキング

イベントグループ最大の自慢「今まで計画した行事が中止になったことがない」が、今年初めて、2回の計画が中止になりました。昨年、久しぶりに計画した「観桜ハイキング」は、時々小雨の寒い日に3分咲きの桜しか見られず。今年こそはと意気込んだのに「大雨のため中止」。桜は、FFには美しい姿を見せてくれないのでしょうか？ 来年こそ、リベンジで満開の桜を見たいものです。

しかし、「飛鳥路に万葉歌碑を訪ねて」「山科から、南禅寺への紅葉ハイク」は、その残念さを補うに余りある素晴らしいものでした。



11/2 飛鳥路に万葉歌碑を訪ねて

10月のFFサロンで万葉の世界を語ってくださった水本洋講師に、再び同行していただき、13名が飛鳥路の歌碑を訪ねながら、この地に眠る万葉人に想いを馳せました。



切石の岩屋山古墳を皮切りに、松隈川岸の歌碑の前で朗詠。文武天皇の真稜といわれる中尾山古墳を経て、天武・持統両天皇の合葬陵のそばで昼食。再び散策を進めて飛鳥川沿いの歌碑では朗詠、伝板葺宮跡では大化の改新に想いを回られ、ついに甘檜の丘へ。ここに犬養万葉歌碑第1号があります。

采女の 袖吹き返す 明日香風
京(みやこ)を遠み いたずらに吹く

12/1 紅葉ハイキング

京都の山々が錦に彩られた晴天の一日、総勢23名は山科駅を降りて、琵琶湖疏水沿いの遊歩道を、水の流れに彩を映す紅葉の美しさを愛でながら歩きました。

蹴上公園でお弁当。インクライン跡から南禅寺へ下り、最後は真紅に染まった永観堂の紅葉に感嘆の声。晩秋を満喫する約2万歩のウォーキングでした。



広報

ブログで速報 情報発信の主流に

一昨年、広報からの情報発信をホームページに切り換え、ニュースレターとして季刊会報誌をホームページ上で見て頂きましたが、膨大な情報が電波で即時に流れるペーパーレス時代に適応する一方で、一年間の主要な出来事を凝縮して記録しておくような保存版の要望も根強いので、記録として残すためAnnual Reportを発行しました。

そして今年度は、ニュースレターをやめて、行事ごとのホットなニュースをブログの「FF Nara activities」に即時にアップしました。その都度、事務局から皆様にお知らせして頂いたことにより、多くの会員がパソコンの扱いに慣れ、ホームページを開いて情報を受け取ることが日常化してきたように思われます。Annual Reportは今年度も記録保存の目的として、発行しました。

来年度、未だ模索中ですが、一年間の反省を踏まえて皆で話し合いながら、新たな情報発信をしたいと思っています。



英会話教室

二人のナイスガイが講師に

Jeshkaの退任後、今年初からBilly MoskasとChristopher Mooreの二人の魅力的な男性講師が着任。Billyは初級を2クラス、Chrisは初級1クラス、中級1クラスを担当。それぞれ持ち味を生かして楽しいレッスンを続けています。



濱田さんのアンバサダーでオーストラリアからの Norman & Elaine 夫妻は、家族のシンボルになるような“夫婦と5羽のひなのコウノトリ”をデザインした作品を買物のたびに探しておられました。東京でも京都でもそして奈良でも。ただ誰もが見つけるのはまず無理だと思っていました。ところが滋井さんのお宅で“鶴の夫婦と5羽のひな”を刺繍したお手製の作品と奇跡的な出会い！ 滋井さんは即座にプレゼントされました。Norman さんの目が喜びで潤みました。帰国後それは家宝になりました。



こ
ん
な
こ
と



藤井さんはドイツ渡航の直前に、ホームステイ先の Angelika Kirkeling から送られてきた夫妻の写真をもとに、お二人のデッサンを細密に描いて、出会いの日にプレゼントされました。夫妻がどれほど喜ばれたか、想像に難くありません。

日本伝統の遊具「けん玉」は、いまや世界各国に広がっていて愛好者が増え、各国それぞれ独自で少しずつ個性の違うけん玉が生産され、国際的な競技大会も開催されているそうです。逆輸入もあるかも。「日本文化体験」では、けん玉に熱中するアンバサダーたちが、意外に上手だったのもそのせい？



中森さんのアンバサダー Sylvia と Marianne が作った替え歌を、お別れディナーパーティで、フォスターの「夢見る人」のメロディにのせて歌ってくれました。

We are the people of the Friendship Force,
Traveling the world to make new friends of course
Eating and drinking day after day, SAKE and Whiskey and Wine by the case
If you should see us stumble and fall, please pick us up and give us some more
Dress in Kimono, writing our names, folding origami is part of the game
Feeding the deer at Nara Park, doing all this before it got dark.
Keeping our fingers out of their mouth as Sibby will tell you.
She almost went south!(=fall down)
When to the Daiso, spent many yen,
Now please take us back there again and again
This is the end our fabulous trip
Friends that we met here we'll never forget.



編集後記

2013年1年間の活動を Annual Report 2013年号にまとめて昨年に引き続いて発行することになりました。ブログに対してはその早さにさすが奈良クラブと他クラブから言われた反面、ニュースレターの長所も捨てがたいという声もあり、今後の検討課題を頂いています。

多忙な時期での紙面作りで、多少の負担感はありませんでしたが、みんなの協力で仕上げることができ、又、この年にこんなに盛りだくさんの行事があったのかと、1年間の出来事を順を追って振り返ることができました ((K.M))。

編集・発行	ザ・フレンドシップフォース・オブ・奈良 広報グループ
事務局	〒630-8036 奈良市五条畑 1-20-16 TEL/FAX 0742-48-4334
	E-mail holinonenara@kcn.jp HP http://ffnara.web.fc2.com/